

- ・日 時：平成 23 年 10 月 13 日(木) 14:00～17:00
- ・場 所：J G S 会館 3 階大会議室
- ・出席者：國生，佐伯，内藤，太田，岸田，小椋，菊池，佐藤，高橋，重村，佐々木，伊藤，吉嶺，清木（西村代理），沓澤，末岡，石井（荏本代理）青木(事務局)
- ・欠席者：金尾，赤木，東畑，石原，宮田，松島，若井，後藤，橘，竹山，王

1. 前回議事録等の確認（8/3） 【別紙－1】

→了承された

2. 今期の体制（変更について）

役員の所属変更（10月1日付）

佐伯英一郎副支部長 新日鉄エンジ ⇒ 日之出水道機器（株）

評議員の交代

東京都水道局 今井茂樹氏 ⇒ 木村康則氏 （8月1日付人事異動のため）

千葉県県土整備部 橋場克司氏 ⇒ 小池幸男氏 （人事異動のため）

首都高速道路（株） 安藤憲一氏 ⇒ 小笠原政文氏 （人事異動のため）

関東地整営繕部 遠藤淳一氏 ⇒ 林理氏 （7月1日付人事異動のため）

退会が決まった法人会員へのお礼状の送付（3月までさかのぼって，送付済み。） 【別紙－2】

3. 最近のスケジュール

第1回評議員会 : 平成 23 年 10 月 27 日（木）

Geo Kanto（山梨） : 平成 23 年 11 月 10 日（木）～11 日（金）

4. 本部からの連絡・検討依頼事項

(1) 地盤工学会会費収入の推移について

→太田顧問より，会費収入と事務局人件費の推移について説明があり，危機的な状況にあるとの説明があった。会員増強のための働きかけ（関東地方整備局等）を，支部長を中心に推進していくこととなった。

(2) 平成 23 年度学会賞候補推薦依頼について

【別紙－3】

→来年度以降の対応について，今後議論することに。

社会貢献賞のようなものもあると良いとの発言があった。

5. 支部からの周知・連絡・検討事項

(1) 東日本大震災における災害対応の感謝状贈呈（関東地方整備局）

【別紙－4】

(2) 関東支部表彰規程の検討について 【別紙－5】

→会員にインセンティブを与える事業であり，是非進めるべき。会員増強にもつながる。

→対象となる技術開発，活動等の期間については未定。

10周年では，過去にさかのぼって表彰し，その後は，ものによって2～5年か。

→地盤工学の社会的地位向上だけでなく，公益法人として社会に貢献した人も表彰対象にした方がよい。

→「関東地域」は，「関東支部地域」にすべき（山梨県も入っているの）。

→公共事業の受注にとっても有利になる（そのようになるよう，働きかけをすることも必要）。

→①～③と，④～⑥は別にした方がよい。後者は，功績賞に相当するため。

→③の対象として，会社等で発行している技術報なども対象にしてはどうかとの意見もあった。

→10周年に間に合わせるため，来年度の総会で承認を得た後，来年から募集を開始するのが良い。

→何のために表彰を始めるのかを，次回の資料では明示すること（効用等）。

(3) H23 年度予算執行状況 (8 月末現在)

【別紙-6】

6. 開催結果, 進捗状況の報告

- (1) 「大いなる神奈川の地盤」(振替) 出版講演会開催のご案内 【別紙-7】
- (2) 地質・地盤リスクマネジメント全国大会(シンポジウム・事例研究発表会)のご案内 【別紙-8】
- (3) 第8回地盤工学会関東支部発表会開催のご案内 【別紙-9】
- (4) 特別講演会「今迫りくる大災害の危機」のご案内 【別紙-10】
- (5) 平成23年度 第1回評議員会の開催について 【別紙-11】  
→現時点の出席予定者数・委任状で過半数は超えているが, 更に委任状の提出を依頼.
- (6) 関東支部ニューズレターNo. 25 発行月未定(巻頭言は, 内藤 新副支部長→快諾)

7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

- (1) 会員サービス G 【別紙-12】  
→シニアエンジニアとのWGでは, 会員に対するインセンティブとして資格制度の重要性が強調されていた(支部での対応は難しいが). 技術の伝承についても前向き(個別案件の具体的な紹介は難しいが).  
→資格制度に関する地盤工学会や全地連での動きについて紹介があった.
- (2) 茨城県 G 【別紙-13】
- (3) 栃木県 G 【別紙-14】  
→勉強会での本部コンテンツ利用の手続きの簡略化については, 了承.  
委員(東京電力 小池様→小守林様)の交代についても了承.
- (4) 群馬県 G 【別紙-15】
- (5) 山梨県 G 【別紙-20】
- (6) 千葉県 G 【別紙-16】  
→講演会は, 11/22 に開催予定.
- (7) 埼玉県 G 【別紙-17】  
→共催について, 了承
- (8) 神奈川県 G 【別紙-18】  
→現場見学会は, 現在保留中。「神奈川の地盤」見学ツアーは 12/4 に開催予定.  
講演会については, 支部ニュースに報告してはどうか?  
講演会は, 神奈川県中央部で追加開催予定.
- (9) 研究委員会 G 【別紙-19】  
→地下水位委員会で不足している旅費は, 研究委員会 G の予算内で処理.  
→浦安市相談窓口については, 浦安市からの返事がない状況. 近日中に確認予定.  
→・関東地盤DB委員会の, 図書の売り上げを研究費として, 情報収集のための旅費, データベース構築, データの電子化等に利用する予定(来年度末まで)である.  
・基金化するのはやめて, 活動費として計上(本部には確認済み).  
・他の委員会に比べて委員会経費が多かった分等を差し引いて, 利益を計算すべきである.  
・上記を踏まえた収支, 予算計画を提出いただいた上で, 了承.
- (10) 支部発表会 G 【別紙-20】  
→次年度以降に向けた準備委員会が正式な組織となっていないが(現在は, 支部発表会 G のWG), 現在の体制で, 宮田リーダー幹事を中心に進めていただく. 場所・日数(東京で1日)だけは決まっている.  
→活動しやすい体制(人数・組織のレベル), 拡大の仕方について議論が必要である.
- (11) 企画総務 G 【別紙-21】  
→若手交流会については, 発表予定者に対しても案内送付(定員を示さず, 申し込み不要).

## 8. その他

### (1) 退会届

・東京電力(株)福島第一原子力調査所 H23.8 4級 組織廃止のため

### (2) 第4期代議員の選考・37名選出(10/17本部より依頼がくる予定)(第3期代議員46名)【別紙-22】

→幹事団で選んで、後ほどメール審議。これまでは、幹事・幹事経験者等から選んでいた。

### (3) 功労賞推薦・名誉会員推薦(11/30本部より依頼がくる予定)

### (4) 防災教育教材について

→本部のアイデアも踏まえつつ、企画総務Gで再検討。

### (5) 次回(第4回)運営委員会予定日 平成23年12月2日(金)14:00~17:00

以上